

さいこうほんぶあと 採鉱本部跡



東平坑事務所入り口(旧採鉱本部)
昭和37年(1962)冬 松浦 勲氏撮影

さいこうほんぶ 採鉱本部

は、別子銅山の中核の場所で、坑内の管理や保安、採掘に関する全ての管理を担っていました。

大正5年(1916)に別子山東延^{とうえん}からこの東平の地へ移転され、移転当初は第三集落に設置されました。

昭和3年(1928)に、東平地域の中枢機能が集積していた、東平集落へ移転します。

とうなる
東平時代の
ちゆうすう
中核を司る場所
つかさど
ところ

新居浜の端出場^{はでば}へ移転される昭和5年(1930)までの14年間、別子銅山の中核の地として東平が位置づけられました。

採鉱本部の前に設置されていたのが、現在も残っているレンガ造りの建物です。

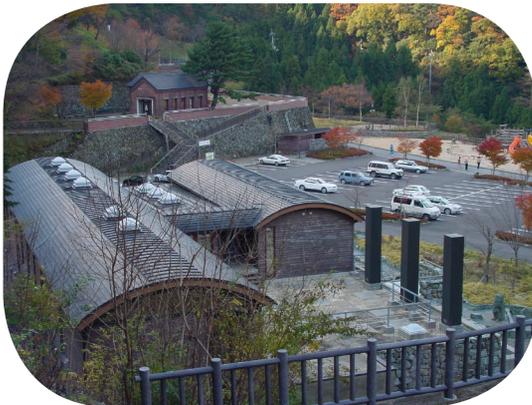
この建物は、最初、東平配電所として東平第三変電所と同じ年代に建設されました。

その後、山林課事務所、保安本部、最終的にはキャップランプ室として利用されました。

現在は、東平マイン工房として生まれ変わり、銅版画やレリーフなどを体験したり手作りの楽しさを味わうことができます。



昭和43年(1968)原 茂夫氏撮影



東平では、煉瓦作りはこの建物と第三変電所だけだったそうです。今思うと残念ですが、木造の建物は撤退の際に全て焼却してしまいました。東平に現存する数少ない遺構ですが、完全な状態で残っています。

また、建物に隣接した松の木を比較して見ると時代の流れを感じます。

東平マイン工房の利用は、開館時間が午前10時から午後5時、お休みは毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)、12月1日から2月末日まで、入場料は無料です。連絡先の電話番号は(0897)36-1300です。



東平坑事務所前
昭和43年(1968)原 茂夫氏撮影

